

別表第1-1 特性表 (建築物の特性表)

		主屋(茅葺)	主屋(茅葺以外)	蚕室	
建築物	配置	細長い地割のほぼ中央に建つ		主屋に近接して建てられる	
	全体	構造	木造、切妻造、茅葺、二階建、平入り、中央に突き上げ屋根(開口部)をもつ、真壁造	木造、切妻造、棧瓦葺、二階建、平入り、中央に腰屋根をもつものがある	木造、総二階建、切妻造、棧瓦葺、平入り、真壁造
		規模(平面形式)	桁行7~10間、梁間3~4間程度	桁行6.5~12間、梁間4.5~6間程度	桁行5間、梁間2間程度
	屋根	形式	切妻造、茅葺(鉄板仮葺)、中央に突き上げ屋根、	切妻造、棧瓦葺、中央に腰屋根をもつものがある	切妻造、棧瓦葺、
		勾配	矩勾配程度	25° から30° 程度	25° から30° 程度
		材料	茅(麦わらが多い)	棧瓦	棧瓦
	下屋	形式	大屋根の葺き下し部分開放で雨戸が入る	開放で雨戸が入る	庇のみが多い
		勾配	20° 程度	20° 程度	10° 程度(庇)
		材料	金属板葺または棧瓦葺		金属板葺
	外部意匠	壁	妻側に貫を等間隔で入れる突き上げ屋根の側面にも入る漆喰仕上げ	妻側と平側両方または片方に等間隔に貫を入れる漆喰仕上げ	妻側、平側ともに等間隔で貫を入れる漆喰または中塗り仕上げ
		開口部(建具)	建具(障子)	建具(障子またはガラス戸)	
		出入口	大戸	木製建具	木製建具

		附属屋(土蔵)	附属屋(馬小屋など)	社寺	
建築物	配置	主屋の脇または裏に近接して建つ	主屋前方の離れたところ、または敷地の縁に近いところ	地形に沿って堂宇が並ぶ	
	全体	構造	木造、切妻造、二階建、棧瓦葺、置屋根、大壁造	木造、切妻造、棧瓦葺、平屋と二階屋あり、真壁造または大壁造(土蔵造)	それぞれ固有の構造、規模、屋根形状、材料、外部意匠をもつ
		規模(平面形式)		外便所は2間四方、馬小屋・物置は桁行4~5間、梁間2間	
	屋根	形式	切妻造、棧瓦葺	切妻造、金属板葺または棧瓦葺	
		勾配	25° から30° 程度	緩い	
		材料	棧瓦	金属板葺または棧瓦葺	
	下屋	形式	2間ほどをオダレ(前室)または庇とする	庇のみ(外便所にはない)	
		勾配	屋根勾配と同じ	屋根勾配と同じか緩い	
		材料	金属板葺	金属板葺または棧瓦葺	
	外部意匠	壁	漆喰仕上げまたは中塗り仕上げ		
		開口部(建具)		木製建具	
		出入口	大戸	木製建具	

別表第 1 - 2 特性表 (工作物の特性表)

		工作物
石垣 ・ 石積 ・ 石段 ・ 石造物	屋敷地	古い石垣は乱積みまたは落し積で、大振りの割り石を使用するものと小口の石を重ねるものがある。
	畑地	土坡に沿って設けた通路の山側に土留めとして石垣を置く。
	社寺の参道	御影石の切石を使い参道の石段を造る。
	石造物	道祖神の丸石神、六地藏幢、石仏など、地区の歴史文化上重要なもの。 使い川の池(水溜)など、屋敷の景観上重要なもの。

別表第2

伝統的建造物（建築物）

番号	保存計画番号	物件種別	員数	所在地	備考
001	1-1-1	主屋	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1155-1	中村 笹子 宅
002	1-1-2	蚕室	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1155-1	〃
003	2-1-1	主屋	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1152-1	中村 勇 宅
004	3-1-1	主屋	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1104	中村 朝幸 宅
005	4-1-1	主屋	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1092-1	中村 一仁 宅
006	4-1-2	土蔵	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1092-1	〃
007	4-1-3	物置	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1092-1	〃
008	5-1-1	主屋	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1082	中村 一男 宅
009	6-1-1	主屋	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1099	中村 健一 宅
010	6-1-2	蚕室	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1099	〃
011	7-1-1	主屋	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1083	中村 浩 宅
012	8-1-1	主屋	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1085	中村 好洋 宅
013	8-1-2	蚕室	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1085	〃
014	8-1-3	物置	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1085	〃
015	9-1-1	主屋	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1075	中村 昭和 宅
016	10-1-1	主屋	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1069-1	中村 仁 宅
017	10-1-2	土蔵	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1069-1	〃
018	10-1-3	物置	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1069-1	〃
019	11-1-1	主屋	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1059-1	中村 富博 宅
020	12-1-1	観音堂	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1333	上条組管理
021	13-1-1	本殿	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1016	金井加里神社
022	13-1-2	拝殿	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1016	〃
023	13-1-3	随身門	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1016	〃
024	14-1-1	本堂	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1005	福蔵院
025	14-1-2	庫裏	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1005	〃
026	14-1-3	仁王門	1棟	山梨県甲州市塩山下小田原 1005	〃

別表第3-1

伝統的建造物（工作物・石垣）

番号	保存計画番号	物件種別	員数 (単位:m)	所在地	保存計画明細 (単位:m)
027	1-2-1	石垣	28.9	山梨県甲州市塩山下小田原 1067	① 28.9
028	2-2-1	石垣	17.3	山梨県甲州市塩山下小田原 1069-1	① 17.3
029	3-2-1	石垣	16.3	山梨県甲州市塩山下小田原 1080-2	① 16.3
030	3-2-2	石垣	24.1	山梨県甲州市塩山下小田原 1080-2	① 24.1
031	4-2-1	石垣	14.0	山梨県甲州市塩山下小田原 1082-2	① 14.0
032	5-2-1	石垣	38.0	山梨県甲州市塩山下小田原 1085-1	① 38.0
033	6-2-1	石垣	22.4	山梨県甲州市塩山下小田原 1092-1	① 22.4
034	7-2-1	石垣	30.4	山梨県甲州市塩山下小田原 1093-1	① 30.4
035	8-2-1	石垣	21.4	山梨県甲州市塩山下小田原 1099-1	① 15.2 ② 6.2
036	8-2-2	石垣	28.2	山梨県甲州市塩山下小田原 1099-1	① 1.0 ② 6.1 ③ 21.1
037	9-2-1	石垣	35.7	山梨県甲州市塩山下小田原 1109	① 35.7
038	10-2-1	石垣	10.4	山梨県甲州市塩山下小田原 1110	① 10.4
039	11-2-1	石垣	9.5	山梨県甲州市塩山下小田原 1111	① 9.5
040	12-2-1	石垣	25.0	山梨県甲州市塩山下小田原 1156	① 17.2 ② 7.8
041	13-2-1	石垣	27.5	山梨県甲州市塩山下小田原 1163	① 10.7 ② 16.8
042	14-2-1	石垣	20.5	山梨県甲州市塩山下小田原 1165	① 20.5
043	15-2-1	石垣	3.8	山梨県甲州市塩山下小田原 1016	① 2.1 ② 1.7
044	15-2-2	石垣	8.0	山梨県甲州市塩山下小田原 1016	① 6.5 ② 1.5
045	16-2-1	石垣	23.2	山梨県甲州市塩山下小田原 1005-1	① 9.6 ② 13.6
046	16-2-2	石垣	21.3	山梨県甲州市塩山下小田原 1005-2	① 21.3
計			425.9		20ヶ所

別表第3-2

伝統的建造物（工作物・石段）

番号	保存計画番号	物件種別	員数 (単位:m)	所在地	保存計画明細 (単位:m)
047	17-2-1	石段	3.2	山梨県甲州市塩山下小田原 1016	幅 2.1 長 3.2
048	17-2-2	石段	1.6	山梨県甲州市塩山下小田原 1016	幅 2.2 長 1.6
049	17-2-3	石段	1.0	山梨県甲州市塩山下小田原 1016	幅 2.2 長 1.0
050	18-2-1	石段	10.3	山梨県甲州市塩山下小田原 1017-23	幅 2.8 長 10.3
051	19-2-1	石段	9.8	山梨県甲州市塩山下小田原 1005-1	幅 3.2 長 9.8
052	19-2-2	石段	7.1	山梨県甲州市塩山下小田原 1005-1	幅 2.8 長 7.1
053	19-2-3	石段	1.6	山梨県甲州市塩山下小田原 1005-1	幅 3.1 長 1.6
			34.6		7ヶ所

別表第3-3

伝統的建造物（工作物・石造物等）

番号	保存計画番号	物件種別	員数	所在地	保存計画明細 (単位:m)
054	20-2-1	池	1	山梨県甲州市塩山下小田原 1085-1	横 2.0 縦 2.1
055	21-2-1	池	1	山梨県甲州市塩山下小田原 1155-1	横 3.0 縦 2.5
056	22-2-1	石造物	1	山梨県甲州市塩山下小田原 1105-1	道祖神
057	23-2-1	石造物	1	山梨県甲州市塩山下小田原 1343	六地藏幢 高 2.1
058	24-2-1	石造物	1	山梨県甲州市塩山下小田原 1104-3	四つ辻の観音様
059	25-2-1	石造物	1	山梨県甲州市塩山下小田原 1016	産の神
060	26-2-1	石造物	1	山梨県甲州市塩山下小田原 1016	手水鉢 横 1.1 縦 0.7 高 0.7
061	27-2-1	石造物	1	山梨県甲州市塩山下小田原 1005	灯籠（東） 高 2.4
062	27-2-2	石造物	1	山梨県甲州市塩山下小田原 1005	灯籠（西） 高 2.4
063	28-2-1	石造物	1	山梨県甲州市塩山下小田原 1005	石仏（東） 高 1.1
064	28-2-2	石造物	1	山梨県甲州市塩山下小田原 1005	石仏（西） 高 1.2

別表第 4

伝統的建造物（環境物件）

番号	保存計画番号	物件種別	所在地	保存計画明細 (単位：m)
1	1-1	古道	農道上下小田原 2 5 号線 (起点) 山梨県甲州市塩山下小田原 1017-23 先 (終点) 山梨県甲州市塩山下小田原 1017-3 先	1 5 8
	1-2		農道上下小田原 3 8 号線 (起点) 山梨県甲州市塩山下小田原 1016 先 (終点) 山梨県甲州市塩山下小田原 1332-4 先	2 8 9
	1-3		農道上下小田原 1 4 号線 (起点) 山梨県甲州市塩山下小田原 1344-1 先 (終点) 山梨県甲州市塩山下小田原 1058-3 先	3 2

別表第5-1 修理基準（建築物の修理基準）

		主屋(茅葺)	主屋(茅葺以外)	蚕室	
建築物	全体	構造	現状維持のための修理もしくは伝統的形式を回復するための復元的修理とする。 復元的修理は、痕跡や史料等の根拠に基づくものとし、明確な根拠に乏しい場合は、地区内もしくは近隣の同形式、同時代の建築物を類例として参照することができる。		
		規模 (平面形式)			
	屋根	形式			
		勾配			
		材料			
	下屋	形式			
		勾配			
		材料			
	外部 意匠	壁			
		開口部 (建具)			
		出入口			

		附属屋(土蔵)	附属屋(馬小屋など)	社寺	
建築物	全体	構造	現状維持のための修理もしくは伝統的形式を回復するための復元的修理とする。 復元的修理は、痕跡や史料等の根拠に基づくものとし、明確な根拠に乏しい場合は、地区内もしくは近隣の同形式、同時代の建築物を類例として参照することができる。		
		規模 (平面形式)			
	屋根	形式			
		勾配			
		材料			
	下屋	形式			
		勾配			
		材料			
	外部 意匠	壁			
		開口部 (建具)			
		出入口			

別表第5-2 修理基準（工作物の修理基準）

		工作物
石垣 ・ 石段 ・ 石造物	屋敷地	現状維持もしくは伝統的形式を回復するための復元的修理とする。 安全性のため、必要に応じて石垣の裏側を補強し、崩落防止の措置をとる。
	畑地	
	社寺の参道	
	石造物	現状維持もしくは伝統的形式を回復するための復元的修理とする。

別表第6-1 修景基準（建築物の修景基準）

		主屋(茅葺)	主屋(茅葺以外)	蚕室	
建築物	全体	構造	現状維持とし、新築の場合は屋敷地の旧状を調査し、建築物等の位置を確認した上で、伝統的な屋敷構えを維持する。		
		規模 (平面形式)	新築の場合は伝統的工法による木造、二階建以下とし、規模は特性表に倣う。		
	屋根	形式	突き上げ屋根をもつ茅葺または金属板仮葺、切妻造で、勾配は矩勾配程度とする。	棧瓦葺、切妻造とし、勾配は25～30度程度とする。	
		勾配			
		材料	金属板仮葺または棧瓦葺とし、色彩は周囲の伝統的建造物と調和をとり、歴史的風致を壊さないものとする。		
	下屋	形式	周囲の伝統的建造物と同様の規模、構造とする。10%程度の勾配とし、棧瓦葺または金属板葺とする。色彩は周囲の伝統的建造物と調和をとり、歴史的風致を壊さないものとする。		庇とし、原則として、金属板葺とする。勾配は10～20度程度とする。
		勾配			
		材料			
	外部意匠	壁	原則として、土壁真壁とし、漆喰で仕上げる。調査により判明したものであれば等間隔に貫を入れる。正面の建具は木製ガラス戸または木製障子として、その前に雨戸を入れる。機能上の必要性からアルミサッシを設ける場合、木製建具の内側に設ける。		
		開口部 (建具)			
出入口		原則として、木製大戸または木製建具とする。	原則として、木製建具とする。		

		附属屋(土蔵)	附属屋(馬小屋など)	社寺	
建築物	全体	構造	現状維持とし、新築の場合は屋敷地の旧状を調査し、建築物等の位置を確認した上で、伝統的な屋敷構えを維持する。		
		規模 (平面形式)	新築の場合は伝統的工法による木造、二階建以下とし、規模は特性表に倣う。		
	屋根	形式	切妻造、置屋根形式とする。勾配は、地区内の類例に倣う。	切妻造とし、勾配は25～30%程度とする。	
		勾配			
		材料	棧瓦葺または金属板葺とし、色彩は周囲の伝統的建造物と調和をとり、歴史的風致を壊さないものとする。		
	下屋	形式	周囲の伝統的建造物と同様の規模、構造とする(別途内規を設ける)。	庇のみとする。	
		勾配	屋根勾配と同じとする。		
		材料	棧瓦葺または金属板葺とし、色彩は周囲の伝統的建造物と調和をとり、歴史的風致を壊さないものとする。		
	外部意匠	壁	原則として、土壁大壁とし、仕上げは漆喰とする。建具は原則として、木製建具とする。		新築の場合、古写真、資料、履歴等に基づき、伝統的様式、材料、および技法等により復元するものとする。既存の建築物の修景については、周囲の伝統的建造物の様式、材料および技法に倣う。
		開口部 (建具)			
出入口		原則として、壁は土壁真壁、建具は木製建具とする。			

別表第6-2 修景基準（工作物の修景基準）

		工作物
石垣 ・ 石段 ・ 石造物	屋敷地	原則として伝統的工法によるが、安全性のため必要に応じて石垣の裏側を補強するなど、崩落防止の措置を行う。
	畑地	
	社寺の参道	
	石造物	

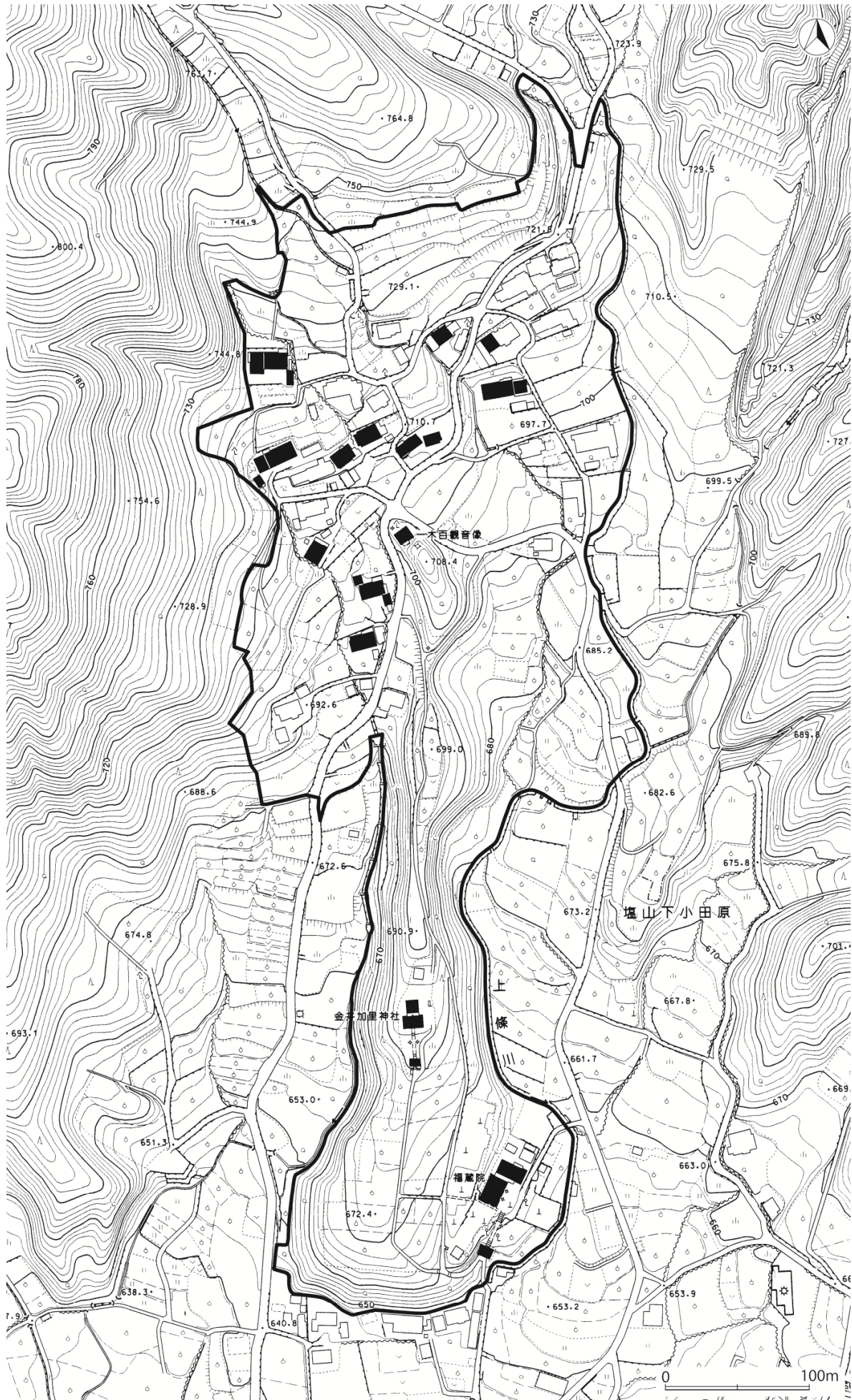
別表第7-1 許可基準（建築物の許可基準）

		主屋	附属屋	社寺	
建築物	全体	構造	原則として既存の屋敷地の現状を維持、あるいは当初の形態に復旧し、伝統的な屋敷構えを踏襲する。 周囲の歴史的風致と調和する木造、切妻造、二階建以下とし、規模は特性表に倣う。	原則として、既存の境内地の現状を維持、あるいは当初の形態に復旧し、伝統的な境内の構えを踏襲する。	
		規模 (平面形式)			
	屋根	形式	桧瓦葺、茅葺または金属板葺、切妻造とし、形式は特性表に従う。	既存の形式、勾配に倣う。 材料は伝統的なものまたは金属板葺とし、色彩は周囲の歴史的風致と調和するものとする。	
		勾配			
		材料			
	下屋	形式	桧瓦葺または金属板葺とし、色彩は周囲の歴史的風致と調和するものとする。		
		勾配			
		材料			
	外部意匠	壁	周囲の歴史的風致と調和するものとする。		周囲の歴史的風致と調和するものとする。
		開口部 (建具)	周囲の歴史的風致と調和する位置・規模を原則とする。建具は木製の色調のものとする。		
出入口		周囲の歴史的風致と調和する位置・規模を原則とする。建具は木製の色調のものとし、玄関は引戸を原則とする。			

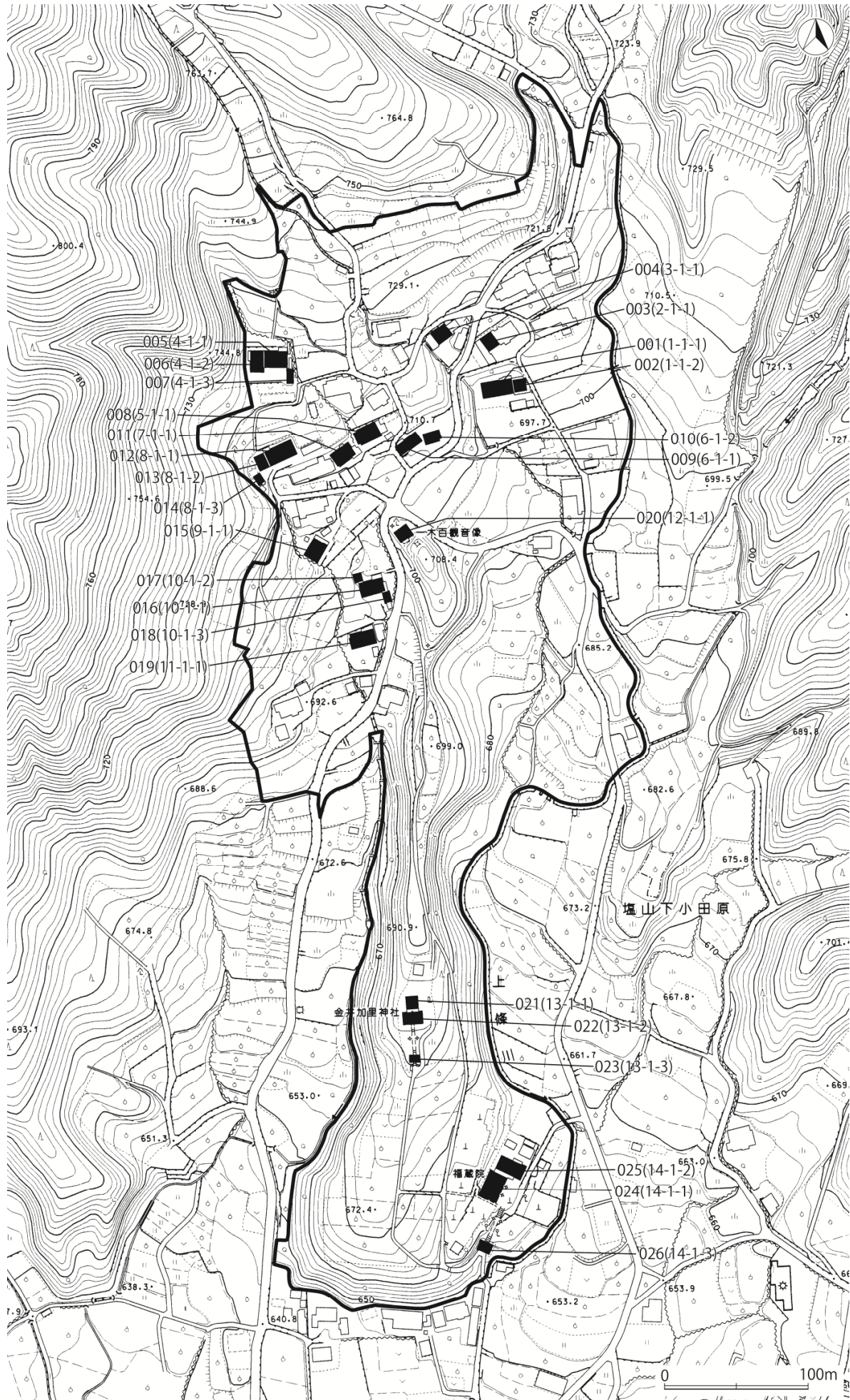
別表第7-2 許可基準（工作物の許可基準）

		工作物
石垣・石段・石造物	屋敷地	原則として伝統的工法によるが、安全性のため必要に応じて石垣の裏側を補強するなど、崩落防止の措置を行う。
	畑地	
	社寺の参道	
	石造物	
擁壁・水路等		周囲の歴史的景観に調和したものとする。 可能な限り伝統的工法・材料を採用するが、安全性のため必要に応じて建材の使用を認める。その場合においても、極力歴史的景観に配慮するものとする。

別図第1 山梨県甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区



別図第2-1 伝統的建造物（建築物）



別図第3 伝統的建造物（環境物件）

